志望理由書800字 構成メモシート

といのタネ

氏名: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　志望する大学・学部: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

字数指定: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿字　提出期限: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿年＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿月＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿日

このシートは、800字の志望理由書を書き出し・本論・結びの3つに分け、書く前に材料と字数を決めるための用紙です。上から順に埋めると、下書きの骨組みができます。

ステップ1 書き出しの一文を決める

ここでは、志望先と学びたいことを決め、最初の一文の型を選びます。

項目	記入欄
志望する学部・学科	
学びたいこと	
選ぶ型 A結論型・B問い型・C場面型	

最初の一文: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2文目: ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

型の選び方の目安です。A結論型は、志望と学びたいことを1文目で言い切ります。B問い型は探究の問いから、C場面型はきっかけの場面から始めます。B型とC型は、2文目で志望を書きます。

ステップ2 本論の3段を埋める

ここでは、経験・問い・大学で学ぶ理由を1〜2行ずつ書きます。

段	書く中身	記入欄	字数の目安
きっかけの経験	いつ・どこで・何を見たか。場面を1つに絞る		150字
生まれた問い	疑問を1文の問いに直す。高校で調べて分からなかった点も書く		150字
その大学で学ぶ理由	授業名・ゼミ・大学の3つの方針から引く言葉と、その出典		200〜250字

ステップ3 理由を1本にするか2つにするか決める

ここでは、手元の材料を見て、本論の形を1つ選びます。

- [ ] 経験が1つで問いも1つなので、理由を1本にして深く書く
- [ ] 別々の経験が2つあり、どちらも大学の学びにつながるので「理由は2つあります」で並べる
- [ ] 理由が3つ以上あるので2つに絞り、残りは面接用のメモに回す

2つ目の理由の経験: _____

面接用に回す材料: _____

ステップ4 結びを書く

ここでは、入学後の学び方と卒業後の方向を1文ずつ決め、書き出しへ戻る言葉を選びます。

項目	記入欄
入学後にまず学ぶこと	
卒業後に向けた方向	
書き出しや本論の場面に戻る言葉	

ステップ5 字数配分を確かめる

ここでは、下書きを書いたあとで各ブロックの字数を数え、目安との差を見ます。差が大きいブロックから直します。

ブロック	目安	下書きの字数	目安との差
書き出し	100〜150字		
本論	500〜550字		
結び	100〜150字		
合計	指定字数以内		

ステップ6 AIの指摘を写して自分で直す

ここでは、AIが返した構成の指摘を写し、直すかどうかを自分で決めます。AIの文はそのまま本文に使いません。

番号	AIの指摘	直すか・理由	自分の言葉での直し方
1			
2			
3			

AIが述べた大学の授業や制度: 募集要項で確かめた ・ まだ確かめていない

下書きを貼る前に伏せ字にしたもの: 氏名 ・ 高校名 ・ 家族が特定できる記述

記入例

経済学部を志望する架空の生徒の例です。自分の内容に置き換えて書きます。

項目	記入例
学びたいこと	地域の公共交通を支える仕組み

項目	記入例
選ぶ型	A結論型
最初の一文	私は貴学経済学部で、地域の公共交通を支える仕組みを学びたいと考えています。
きっかけの経験	高校2年の夏、祖母の通院でバスが1日4本と知り、帰りの便まで2時間待った
生まれた問い	どの路線に、どの程度の公費を充てるのが妥当なのか
その大学で学ぶ理由	公共経済学と地域政策の科目群、2年次からの地域課題ゼミ。出典は募集要項
本論の形	理由を1本にして深く書く
入学後にまず学ぶこと	統計と経済学の基礎
結びで戻る言葉	祖母が待合室で過ごした2時間
AIの指摘と直し方	指摘: 実習の記述に出典がない。直し方: 募集要項の該当ページを確かめてから残す